

2024年1月30日
町田市立中央図書館ホール

- 1 開 会
図書館長 挨拶
- 2 委員紹介
- 3 委員長及び副委員長の選任
- 4 議 事
(1)「第四次町田市子ども読書活動推進計画2023年度前半期取組状況及び
2024年度取組予定」について 資料2
(2)「第五次町田市子ども読書活動推進計画」の策定状況について 資料3
- 5 情報共有・情報交換
- 6 その他
次回の会議について（7月～8月）
- 7 閉 会

配布資料一覧

- 資料1 町田市子ども読書活動推進計画推進会議 委員名簿 p2
- 資料2-1 第四次町田市子ども読書活動推進計画2023年度前半期取組状況及び
2024年度取組目標・予定 報告書（案） p3～p13
- 資料2-2 2023年度前半期取組状況にかかる市民委員からの質問及び回答・意見 p14
- 資料3-1 第五次町田市子ども読書活動推進計画策定スケジュール p15
- 資料3-2 計画骨子と視点について p16～p18
- 資料3-3 第五次子ども読書活動推進計画取組一覧（案） p19～p20
- 資料3-4 成果指標 p21

町田市子ども読書活動推進計画推進会議 委員名簿
委員任期(2023年11月1日から2025年10月31日まで)

資料1

選 出 区 分	氏 名	備考
町田市公立小学校長会の代表 (南成瀬小学校)	吉成 美紀	指名
町田市公立中学校長会の代表 (木曾中学校)	梶野 明信	指名
町田市立小学校の読書活動に携わる保護者 (町田市公立小学校読書活動に関わる保護者団体の代表)	高橋 晃代	委嘱
町田市立中学校PTA連合会の代表 (小山田中学校)	保高 浩子	委嘱
町田市私立幼稚園協会の代表 (きそ幼稚園 園長)	櫻井 恵美子	委嘱
町田市法人立保育園協会の代表 (なごみ保育園 園長)	松井 美和	委嘱
図書館又は学校図書館に係わるボランティア (おはなしポケット)	長尾 厚子	委嘱
図書館又は学校図書館に係わるボランティア (鶴川第三小学校図書指導員)	福田 比呂子	委嘱
町田市立図書館協議会の代表	福田 有美子	委嘱
子ども生活部児童青少年課長	菊地 仁幸	委嘱
子ども生活部子育て推進課長	香月 勇人	委嘱
学校教育部教育総務課長	高田 正人	指名
学校教育部指導課長	大山 聡	指名
生涯学習部図書館長	中嶋 真	指名

第四次町田市子ども読書活動推進計画

2023年度前半期取組状況及び2024年度取組目標・予定 報告書

町田市教育委員会

2024年 2月

目次

基本目標Ⅰ 子どもが本と出会うきっかけ作り

- 1-1 …… 図書館でのおはなし会
- 1-2 …… 「子育てひろば」でのおはなし会
- 1-3 …… 学童保育クラブのおはなし会
- 1-4 …… 子どもセンターのおはなし会
- 1-5 …… 自由民権資料館まつりでのおはなし会
- 1-6 …… 「きしゃポッポ」等での読み聞かせ
- 1-7 …… 健診時のおはなし会(廃止)
- 1-8 …… ブックトーク
- 1-9 …… 図書館のおすすめブックリスト
- 1-10 …… ことばらんどショートショートコンクール
- 1-11 …… 図書館でのイベント・講座
- 1-12 …… 文学館でのイベント・講座
- 1-13 …… 図書館見学の受け入れ
- 1-14 …… マイ保育園登録時の絵本配布
- 1-15 …… イベント等における本の活用
- 1-16 …… 母子バッグへのおすすめ絵本リスト同封
- 1-17 …… 各校特色のある読書活動

基本目標Ⅱ いつでも身近なところに本がある環境作り

- 2-1 …… えいごのまちだ
- 2-2 …… 図書館児童資料
- 2-3 …… 公立保育園および地域子育て相談センター
- 2-4 …… 学童保育クラブ
- 2-5 …… 子どもセンター
- 2-6 …… 「学校図書館活用の手引き」
- 2-7 …… 学校図書館の蔵書整備
- 2-8 …… 学校図書館支援貸出
- 2-9 …… 「子育てひろばカレンダー」の発行
- 2-10 …… 「生涯学習NAVI」の発行
- 2-11 …… まちだ子育てサイトの活用
- 2-12 …… 図書館公式ホームページ・Twitter
- 2-13 …… 「家庭学習の手引き」の提供
- 2-14 …… 「本と出会う場所」マップ

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の配置と育成

- 3-1 …… 学校図書館担当者研修
- 3-2 …… 新任教諭への図書館研修
- 3-3 …… 児童文学講座の実施
- 3-4 …… 保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施
- 3-5 …… 図書館おはなし会ボランティアの養成
- 3-6 …… 文学館おはなし会ボランティアの養成

基本目標 I ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度前半期取組状況	自己評価(前半期)	2024年度目標	2024年度取組予定
1	1	おはなし会	図書館でのおはなし会	図書館	乳幼小保	乳幼児向けから小学校低学年向けまで、年齢・発達にあったおはなし会を、各図書館が工夫をこらして実施する。	・「おはなし会」を全館で定期的に開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2年連続で中止している「ボランティアとの懇談会」を開催する。 ・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、開催にあたって生じた課題を検討する。 ・現在、不定期で開催している「おはなし会」を、通常どおり定期的に開催する。 ・実施可能な館による「出張おはなし会」を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボランティアとの懇談会」は、ボランティアの負担を軽減するため、書面で必要事項を伝えるようにし、鶴川図書館以外は対面で行わずに書面で行った。 ・6月8日と10月12日に打ち合わせを行い、会議の中で、おはなし会、出張おはなし会の実施状況等を議論した。 ・おはなし会を以下のとおり、定期的に開催した。 【中央図書館】 ・大きい子向けおはなし会: 27回開催、223名参加 ・小さい子向けおはなし会: 7回開催、83名参加 ・乳幼児向けおはなし会: 13回開催、110名参加 ・こわいおはなし会: 2回開催、9名参加 ・まちでだっこのおはなし会(出張): 2回開催、33名参加 【さるびあ図書館】 ・おはなし会: 7回開催、61名参加 ・小さい子向けおはなし会: 2回開催、10名参加 ・乳幼児向けおはなし会: 3回開催、23名参加 【鶴川図書館】 ・おはなし会: 6回開催、27名参加 ・乳幼児向けおはなし会: 7回開催、33名参加 ・だんちでえほん(URと共催): 1回開催、12名参加 【金森図書館】 ・おはなし会: 29回開催、278名参加 ・乳幼児向けおはなし会: 7回開催、53名参加 ・こわいおはなし会: 1回開催、10名参加 【木曾山崎図書館】 ・大きい子向けおはなし会: 5回開催、19名参加 ・赤ちゃんと小さい子向けおはなし会: 7回開催、29名参加 ・ちびっここわいおはなし会: 1回開催、2名参加 【堺図書館】 ・おはなし会: 3回開催、14名参加 ・こうさぎ保育園向けおはなし会: 6回開催、118名参加 ・乳幼児向けおはなし会: 5回開催、24名参加 【忠生図書館】 ・大きい子向けおはなし会: 12回開催、123名参加 ・大きい子向けこわいおはなし会: 1回開催、17名参加 ・大きい子向け工作おはなし会: 1回開催、15名参加 ・しぜんの国保育園おはなし会: 7回開催、66名参加 ・小さい子向けおはなし会: 2回開催、29名参加 ・乳幼児向けおはなし会: 7回開催、47名参加 <ul style="list-style-type: none"> ・出張おはなし会についても、以下のとおり実施可能な館で実施した。 【中央図書館】【さるびあ図書館】 ・まちでだっこのおはなし会(出張): 3回開催、73名参加 【さるびあ図書館】 ・せりがや冒険遊び場前でのおはなし会: 4回開催、27名参加 【木曾山崎図書館】 ・七国山小学校おはなし会: 11回開催、317名参加 【堺図書館】 ・WAAAおはなし会: 1回開催18名参加 	B	・2024年度は、ボランティアの役割の検討なども踏まえて、より効果的に開催できるよう検討を行う。	・2023年度と同様の日時と規模感で定期的に開催する。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度前半期取組状況	自己評価(前半期)	2024年度目標	2024年度取組予定
1	2	おはなし会	「子育てひろば」でのおはなし会	子育て推進課	乳幼保	「子育てひろば」事業の一つとして、地域子育て相談センターが乳幼児向けおはなし会を開催する。絵本や紙芝居の読み聞かせを中心に行う。見て聞いて絵本の楽しさを味わえるように、わかりやすい絵本を提供しながら取り組む。	・図書館の絵本も活用しながら、地域の親子に絵本に触れる機会を提供する。	・引き続き、子育てひろばの出し物の一つとして、絵本に触れる機会を設ける。 ・図書館職員やボランティアによるお話し会を取り入れていく。	・おはなし会を主とした子育てひろばを124回開催した。 ・子育てひろばの中で読み聞かせ等の時間を必ず作ることで、絵本やお話しに触れる機会が持てるようにした。また、読み手も職員だけでなく、ボランティアに行ってもらった機会を設けた。	B	・おはなし会の開催の維持 ・お話しボランティアの活用	・引き続き、子育てひろばの中で、絵本に触れる機会を設ける。 ・年齢や季節に合わせた絵本の紹介を行っていく。 ・子育てひろばの中だけでなく、読み聞かせボランティアによるおはなし会を取り入れていく。
1	3	おはなし会	学童保育クラブのおはなし会	児童青少年課	小	在籍する子どものために、おはなし会を実施する。また、子どもセンターや図書館のおはなし会に参加しておはなしを聞く機会を確保する。	・3年生以上の児童が読み聞かせを行う機会を増やせるよう、職員が児童に働きかけ、楽しくやることがいを感じながら実施できるよう支援していく。	・毎月1回実施するお話し会の中で、高学年児童の読み聞かせを行う機会を増やせるよう、職員が高学年児童に働きかけ、楽しくやることがいを感じながら実施できるよう支援していく。	・中央学童保育クラブ及び35の指定管理施設において、毎月1回以上、おはなし会を実施した。 ・中央学童保育クラブで毎週行うおはなし会においては、高学年児童が楽しくやることがいを感じながら読書活動に参加できるよう、職員が支援を行った。 ・指定管理施設においても、35の学童保育クラブでお話し会を開催し、うち11のクラブで地域のボランティアと連携して実施した。	B	・おはなし会を通じて、児童の発達に応じ、図書に触れ合うきっかけづくりを図る。	・毎月1回以上おはなし会を実施し、児童の発達に応じた図書に触れ合うことで、読む楽しさを体感できるような機会を創出する。
1	4	おはなし会	子どもセンターのおはなし会	児童青少年課	乳幼小	市民に向けた「乳幼児向けおはなし会」を行う。	【ばあん】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・2023年度も引き続き、感染状況に留意し、継続して事業を実施していく。また、夏休み事業等についても、2022年度と同様、実施していく予定である。	・原則毎月2回、乳幼児及び未就学児を対象に、絵本・紙芝居・手遊び・パネルシアター・エプロンシアターなどを、おはなしボランティア団体「おはなしとんからりん♪」に依頼し、実施した。 ・夏休み事業「夏のおはなしはじまるよ」を実施し、一緒に声を出したり、手を叩いたりするなど、参加型のおはなし会を行った。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。
							【つるっこ】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、ボランティア団体「柿の木文庫」にご協力いただき、毎月1回の乳幼児向けお話し会、小学生向けの夏休みお話し会を実施していく。	・おはなしボランティア団体「柿の木文庫」による乳幼児向けのおはなし会「びよばおタイム」を毎月1回実施した。 また、小学生向けのおはなし会を夏休みに1回実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。
							【ばお】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。	・おはなしボランティア団体「アイアイ」による乳幼児向けのおはなし会「おはなしアイアイ」を毎月1回実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。
							【わーお】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。 ・「おはなしたいむ」の実施回数を増やす。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。 ・不定期開催の「おはなしたいむ」については、月1～2回程度、定例的に実施していく。	・おはなしボランティア団体による乳幼児向けのおはなし会「さくらんぼの会」を毎月2回実施した。 ・「おはなしたいむ」は、子どもの様子を見ながら必要に応じて声掛けを行い実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。
							【ただON】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。 ・忠生図書館共催事業「調べてミッション！図書館の本を使ってクイズに挑戦しよう！」については、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、実施できる方法を検討していく。	・紙芝居・手遊び・パネルシアター・音楽に合わせたお話などを、おはなしボランティア団体「ひろば文庫」に依頼し、乳幼児の親子を対象に毎月1回実施した。 ・忠生図書館との共催事業として、7月に「忠生図書館からの挑戦状」を、8月に小学生を対象にしたお話し会「怪談ライブ」を実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。
							【まあち】 ・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して事業を実施していく。	・毎月1回、おはなしボランティア団体「にこぼ」による、手遊び、わらべうた、絵本の読み聞かせなどのおはなし会(乳幼児向け)を実施した。 ・4月と6月に1回ずつ、中央図書館・さるびあ図書館との共催による乳幼児向けおはなし会を実施した。 ・夏休み期間に1回、さるびあ図書館との共催による小学生向けのこわいおはなし会を実施した。	B	・おはなし会を、ボランティア団体と連携しながら実施する。	・引き続き、継続して事業を実施していく。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度前半期取組状況	自己評価(前半期)	2024年度目標	2024年度取組予定
1	5	おはなし会	自由民権資料館まつりのおはなし会(紙芝居上演)	自由民権資料館	小中保	町田の郷土史に興味を持ってもらうために、「町田の民話」の紙芝居等を実施する。	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書の活用を目指す。	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書を紹介します。	・町田の郷土史に興味を持ってもらえるように、7月22日から9月3日までの企画展「町田のおカイクさん」会期中および、企画展関連事業ワークショップにおいて、子ども向けの歴史書籍を紹介した。	B	・イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書の活用を目指す。	・引き続き、イベントや体験講座において町田の郷土史に興味を持ってもらえる図書を紹介します。
1	6	おはなし会	「きしゃポッポ」等での読み聞かせ	生涯学習センター	乳保	「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」、親子対象のイベント等の保育を伴う事業において、読み聞かせや絵本の紹介を行う。	・「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」において、毎回読み聞かせ、紹介を行う。 ・大型絵本を活用する。	・「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」において、読み聞かせや紹介、絵本の展示を続けていきたい。また、引き続き大型絵本も活用したい。	・毎月テーマに沿った2冊を選び、「きしゃポッポ」、「パパと一緒にきしゃポッポ」で紹介し、読み聞かせを行った。 ・2冊のうち1冊は大型絵本を活用することとし、読み聞かせの際、親子で楽しみやすいように工夫をした。 ・その他の親子対象事業でも、絵本の読み聞かせを行った。	B	・「パパと一緒にきしゃポッポ」において、毎回読み聞かせ、紹介を行う。 ・大型絵本を活用する。	・「パパと一緒にきしゃポッポ」において、読み聞かせや紹介、絵本の展示を続けて行く。また、引き続き大型絵本も活用する。 ・町田市生涯学習センター運営見直し実行計画に基づき、事業の種類や回数は見直しを行っている。
1	8	ブックトーク	ブックトーク	図書館	幼小中	普及・継続に向けて、ブックトークのノウハウ共有とスキル向上を図る。より効果的なPRに努める。	・市内全域の小学校等地域にPRする。 ・全館でブックトークを再開する。	・全館の「児童担当者による打合せ」を実施し、市内全域にPRできる方法を検討する。 ・依頼に基づき、ブックトークを実施する。	・2024年2月に行う打ち合わせでPR方法について検討する。 ・依頼に基づき、以下のとおり、ブックトークを実施した。 【中央図書館】 ・7月14日「藤の台小学校(6年生)」:2クラス64名参加 ※12月15日「藤の台小学校(4年生)」予定	B	・ブックトークを事業として位置づけ、実施の在り方について検討する。	・ブックトークの効果的な実施方法について、検討を行っていく。
1	9	ブックリスト	図書館のおすすめブックリスト	図書館	乳幼小中保	＜赤ちゃん向け＞ 「あかちゃんとのしむえほん」 ＜幼児向け＞ 「ほんのたからじま 3・4・5さい」 ＜小学生向け＞ 「本のたからじま(学年ごと)」 その他、新しい本からおすすめ「みんなでもう子どもの本」、「YA通信」等を発行する。	・継続して発行し、関係部署等に配布する。	・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に配布する。 ・「みんなでもう子どもの本(総集編)」を、4/23子どもの読書週間に合わせて子ども関係施設に配布する。 ・2023年度も継続して、「みんなでもう子どもの本」、「YA通信」等を発行する。 ・「しん1ねんせい用本のたからじま」を学校に送付し、入学式で配布するよう依頼。 ・「みんなでもう子どもの本」を2回発行し、子ども関係施設にて配布する。 ・「YA通信」を5回発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布する。	【中央図書館】 ・「ほんのたからじま(3・4・5さい)」を、全市立保育園に配布し、私立保育園及び幼稚園には園長会で案内した。 ・「しん1ねんせい用本のたからじま」を図書館で利用券を作成した新1年生に配布した。 ・「みんなでもう子どもの本」2022年度版総集編を、印刷部数を調整して、子どもの読書週間に合わせて子ども関係施設に配布した。 ・「みんなでもう子どもの本」188号を発行した。 ・「YA通信」254号から258号まで発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布した。 【堺図書館】 ・みんなでもう子どもの本2019年及び2020年度版を、相原小学校2年生へ図書館見学の際に59部配布した。 【金森図書館】 ・図書館見学の時に配布した。	B	・継続して発行し、関係部署等に配布する。	・地域からの依頼に基づき、継続して図書館見学や職場体験を開催する。 ・「ほんのたからじま 3・4・5さい」を、引き続き保育園・幼稚園に案内及び配布する。 ・「みんなでもう子どもの本」については、作成方法の見直しを検討し、あわせて利用者に効果的に届くように検討を行う。 ・2024年度も継続して、「YA通信」等を発行し、市内の全中学校・公立高校、私立学校等37校、子どもセンター等へ配布する。
1	10	子ども向け読書活動普及事業	ことばらんどショートショートコンクール (旧:町田市創作童話コンクール)	文学館	小中	青少年の創作活動の機会提供の一環として、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的として行っている「ことばらんどショートショートコンクール事業」を実施する。	・青少年の文学に触れあうきっかけとなるよう、引き続き「ショートショートコンクール」を実施する。 ・1,100編の応募数をを目指す。	・多くの児童・生徒に応募してもらえるよう出張授業で創作の楽しさ、方法を伝える。 ・効果的なPR活動を行い「ショートショートコンクール」の認知度を高める。	・市内小中高生を対象に「ことばらんどショートショートコンクール2023」を実施。小学生404編、中学生552編、高校生46編の総数1,002編の応募があった。 ・コンクールの審査委員長を務める田丸雅智氏による出張授業を実施。講師本人の指導による「ショートショート書き方講座」2回(参加生徒数350名)をはじめ、文学館職員による書き方講座を計11回(小学校6回、中学校3回、高等学校2回)開催し、延べ800名の生徒の受講があった。 ・2022年度受賞作品の展示を中央図書館、ポプリホールで実施した。	B	・コンクールへの応募総数1,050編を目指す。	・引き続き、コンクールへの応募を促すため、各校担当教員等への積極的なPRと書き方講座の実施、受講を促す。 ・市内施設等での受賞作の展示等を実施し、コンクールのPR活動に努める。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度前半期取組状況	自己評価(前半期)	2024年度目標	2024年度取組予定
1	11	子ども向け読書活動普及事業	図書館のイベント・講座	図書館	乳幼小中	「一日図書館員」、「図書館の達人養成講座(まちクエ)」のような参加・体験型イベント、「まちだ図書館まつり」等の図書館事業を行う。	・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、各館でイベントを実施する。	・「一日図書館員」や「まちクエ」の参加者が増えるような工夫をし、引き続き体験型イベントの開催を行う。 ・「まちだ図書館まつり」のようなイベントを企画する団体の活動支援ができるよう体制を整える。	【中央図書館】 ・児童向けイベントとして「クイズラリー・にんきものをさがせ!」、「まちクエキッズ」を実施した。 ・中学生から大学生までを対象とした図書館員を体験できるイベント「一日図書館員」を4回実施し、16名の参加があった。 ・中央図書館内を巡って謎を解くイベント「まちクエ2023」を8月1日から8月31日まで実施し、50名の参加があった。アンケート回答者50名、内イベント対象学年は14名だった。 ・若者に図書館でのイベントの企画・運営を行ってもらい、図書館利用の促進を図ることを目的とした、「図書館プランナー(図書館イベントボランティア)」の募集を9月1日から開始した。 【鶴川図書館】 ・夏休みイベント「にんきものをさがせ!」を実施した。 【金森図書館】 ・夏休みイベント「ようかいそうせんきょ」、「ようかいをさがせ!」を実施した。 【堺図書館】 ・開館40周年イベント「いきものをさがせ!」を実施した。 【忠生図書館】 ・夏休みイベント「ひつじちゃんをさがせ!」、「としかんまじょからのちようせんじょう!」を実施した。	B	・各館でイベント引き続き実施する。	・イベントの参加者が増えるような工夫をし、引き続き体験型イベントの開催を行う。 ・子ども・若者が参画できるような取組を検討・推進する。
1	12	子ども向け読書活動普及事業	文学館のイベント・講座	文学館	乳幼小中	文学館の特徴をいかした、子ども対象の講座等を実施する。	・子ども達の「文学の扉」となる事業を、年齢に応じたプログラムで実施する。 ・子ども達に「創作」の機会や専門家から直接指導を受けられる体験の場を提供する。	・引き続き、子ども達の「文学の扉」となる事業を、年齢に応じた内容を工夫し実施する。	・子どもの年齢に応じた絵本の読み聞かせやわらべうたの事業として、「ちちんぷいぷい」(0・1歳児対象)を14回、「2歳児あつまれ!」を3回、「3・4歳児あつまれ!」を3回実施し、それぞれ269名、18名、12名の参加があった。 ・小学生を対象に、野外に赴いて吟行を行う俳句教室「俳句でハイク」を春季(5月から7月)と秋季(10月から12月)に行い、春季には延べ27名の参加があった。 ・絵本原画を中心とする夏季展の開催時期に併せて保育園・幼稚園の団体観覧者を募り、5施設から0歳から5歳児を中心に計140名(引率者を含む)の見学者を数えた。 ・秋季展のプレイベントとして、芹ヶ谷公園での屋外型絵本読み聞かせを実施し、延べ17名の親子が参加した。 ・文学系YouTuberスケザネ氏を招聘し、読書に関心のある10~20代向けの読書講座「10代・20代のためのスケザネ図書館」を開催し、8名の参加があった。	B	・子ども達の「文学の扉」となる事業を、成長過程や年齢に応じたプログラムで実施する。 ・子ども達に「創作」の機会や専門家から直接指導を受けられる体験の場を提供する。	・子どもの発育に応じたおはなし会を定期的を実施し、親子のコミュニケーションを通じて「ことば」への関心を育てる。 ・屋外への吟行を実践し、「ことば」のリズムと創作の楽しさを体験する機会となる俳句教室を年2回(春・秋)開催する。 ・夏季(子ども向け)展覧会の開催に併せ、保育園・幼稚園施設から団体観覧者を積極的に誘致し、子ども達に文学に触れあう機会を提供する。

基本目標Ⅰ ◎子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度前半期取組状況	自己評価(前半期)	2024年度目標	2024年度取組予定
1	13	子ども向け読書活動普及事業	図書館見学の受け入れ(利用ガイダンス、施設見学)	図書館	幼小中	学校等からの見学ツアー等を受け入れ、図書館の利用方法、図書館の行っている仕事等を広める。	・依頼に基づき継続して受け入れていく。	・地域からの依頼に基づき図書館見学を開催する。	・地域からの依頼に基づき、以下のとおり実施した。 【中央図書館】 ・7月7日「高ヶ坂小学校(2年生)」: 当日猛暑のため中止 ・10月5日「町田第二小学校(2年生)」: 58名参加 ・10月13日「町田第一小学校(2年生)」: 5名参加(地域探検活動) ・10月25日「町田第二小学校(3年生)」: 106名参加 ・10月31日「つくし野小学校(3年生)」: 69名参加 【さるびあ図書館】 ・6月14日「町田第一小学校(2年生)」: 58名参加 ・6月16日「町田第一小学校(2年生)」: 60名参加 【金森図書館】 ・10月25日「小川小学校(2年生)」: 59名参加 【木曾山崎図書館】 ・6月14日「七国山小学校(2年生)」: 28名参加 ・6月15日「七国山小学校(2年生)」: 26名参加 ・6月16日「七国山小学校(2年生)」: 26名参加 ・10月13日「本町田小学校(2年生)」: 37名参加 ・10月20日「本町田小学校(2年生)」: 29名参加 ・10月27日「東京都立町田の丘学園(3年生)」: 12名参加 【堺図書館】 ・10月10日「相原小学校(2年生)」: 64名参加 【忠生図書館】 ・9月13日「忠生小学校(2年生)」: 36名参加 ・10月10日「図師小学校(2年生)」: 90名参加	A	・依頼に基づき継続して受け入れていく。	・地域からの依頼に基づき、継続して図書館見学や職場体験を開催する。
1	14	子ども向け読書活動普及事業	マイ保育園登録時の絵本配布	子育て推進課	乳保	0歳で新規に「マイ保育園」登録とした赤ちゃんには絵本を配布する。絵本に関しては、図書館と連携して0歳向けのものを選定する。	・マイ保育園登録につながるよう、勧奨訪問で登録を勧めていく。	・引き続き、0歳でマイ保育園新規登録者には、絵本を配布していく。	・621冊の絵本を0歳のマイ保育園新規登録者に配布した。 ※マイ保育園とは、地域の家庭が近隣の保育園を「かかりつけ保育園」として登録し、気軽に相談できるような子育て支援のこと。	B	・マイ保育園登録につながるよう、勧奨訪問で登録を勧めていく。	・引き続き、0歳のマイ保育園新規登録者には、絵本を配布していく。
1	15	子ども向け読書活動普及事業	イベント等における本の活用	生涯学習センター	乳幼小中保	イベントや講座等を開催する際に、テーマや対象にあった本を展示・紹介する。	・本の展示、紹介を行う内容を含む事業を企画・実施する	・平和祈念事業や講座において、本の展示や紹介を行う内容を含めて、企画・実施したい。	・平和祈念事業において、子ども向け紙芝居の読み聞かせを行った。 ・家庭教育支援学級において、受講生同士が絵本を持ち寄り、紹介や情報交換をし合う時間を設けた。	B	講座やイベントにおいて、本の展示や紹介を行う内容を含めて、企画・実施する。	・講座やイベントにおいて、本の展示や紹介を行う内容を含めて、企画・実施する。
1	16	子ども向け読書活動普及事業	母子バッグへのおすすめ絵本リスト同封	保健予防課	乳保	母子手帳と一緒に配布される母子バッグに、赤ちゃんにおすすめの絵本のリストを入れる。	・赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介し、絵本に親しんでもらう。	・妊娠届出/転入の妊婦に対して、「おすすめ絵本リスト」を封入した母子バッグの配布を行う。	・妊娠の届出をした妊婦及び転入の妊婦に対して、「あかちゃんとのしむ絵本」を封入した母子保健バッグを配布した。 (妊娠届出: 1,253件、転入: 147件)	B	・赤ちゃんにおすすめの絵本を紹介し、絵本に親しんでもらう。	・引き続き、妊娠届出または転入の妊婦に対して、赤ちゃんにおすすめの絵本のリストを母子保健バッグに封入して配布する。
1	17	各学校での読書活動	各校特色のある読書活動	指導課	小中	教育課程「指導の重点」に明記し、市立小・中学校においてそれぞれ特色ある読書活動に継続的に取り組む。	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行う。	・学校図書館担当者研修会を木曾中学校で行い、読書活動の推進を図る実践例等について紹介することを計画している。	C	・教育課程「指導の重点」に位置付けた、各校の特色ある読書活動を推進する。	・特色ある読書活動に取り組んでいる学校の実践例を研修等で紹介できるように、情報収集を行う。

総括	A評価	B評価	C評価	16
	1	14	1	

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度前半期取組状況	自己評価(前半期)	2024年度目標	2024年度取組予定
2	1	図書資料の充実	えいごのまちだ	図書館	乳幼小中	町田市が取り組む「えいごのまちだ」事業を推進し、英語の児童書を充実する。	・電子書籍サービスの音声付き電子書籍Read-Along(リード・アロング)と、多読コーナーの周知を図る。	・引き続き、英語多読につながる図書の購入を進め、まだ多読コーナーを設置していない館にも設置するようにする。 ・ふるさと納税の寄付金対象事業となったため、多くの支援を受けるための宣伝に力を入れる。	・多読コーナーに設置する児童用英語教材や英語絵本の選定及び発注について、選書担当と共に打合せ・本の検討を行った。 ・8月26日(日)英語多読講演会「もっと英語多読が楽しくなる！」を開催した。 また、11月12日(日)には、中央図書館講演会「英語多読への招待～図書館の森に多読の木を植えよう～」を開催する。	A	・電子書籍サービスの音声付き電子書籍Read-Along(リード・アロング)と、多読コーナーの周知を図る。	・英語多読につながる図書の購入を進め、英語多読コーナーの周知に努める。 ・ふるさと納税対象事業であるため、支援を受けるための宣伝に力を入れる。
2	2	図書資料の充実	図書館児童資料	図書館	乳幼小中	図書館において、児童・生徒の興味関心や調べ学習に対応できる蔵書構成、資料の充実に努めるとともに、引き続き幅広いニーズに迅速に応えられるよう、情報収集に努める。	・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握する。	・引き続き、選定会議で、現物を見たうえで、新刊の内容を確認してから発注する。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握する。 ・ビジネスチャットの活用について、担当者打合せ等で検討。	【堺図書館】 ・堺図書館及び移動図書館の利用ニーズを考慮して、乳幼児の絵本や優しい知識の本を購入した。 【金森図書館】 ・乳幼児向け絵本や、紙芝居など利用の多いものを購入した。 ・利用頻度の高いものは買換えをし、状態の良い資料の提供を心がけた。 【中央図書館】 ・選定会議で、現物を見たうえで、新刊の内容を確認してから発注した。 ・カウンター業務における読書相談を丁寧に行い、利用者のニーズを把握し、おはなし会の開催時間を変更した。	B	・各館で行っているカウンター業務における読書相談を活用し、館の利用者のニーズではなく、市立図書館の情報として把握する仕組みを構築する。	・カウンター業務における読書相談の活用方法を全館の担当者の打ち合わせで検討する。
2	3	図書資料の充実	公立保育園および地域子育て相談センター	子育て推進課	乳幼	引き続き、絵本の状況確認を行いながら、必要に応じて本の購入や図書館の再利用本活用で資料の充実を図る。また図書館の団体貸出もあわせて利用する。	・子ども達に絵本に触れる機会を多く作っていく。	・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、活用を検討していく。	・園児が図書館に赴き、団体利用貸し出しを11回利用した。 ・園児は自分で好きな絵本を選ぶ楽しさを味わうことができた。 ・保育園では絵本を購入し、園児たちの興味関心を広げることができた。	B	・子ども達に絵本に触れる機会を多く作っていく。	・自分で興味のある本を選べる楽しさを感じられるよう、図書館の利用を進めていく。 ・再利用図書の活用を行い、園内の貸し出し本の充実を図っていく。
2	4	図書資料の充実	学童保育クラブ	児童青少年課	小	事前にリスト等で選定した再利用本を年代別にし、計画的に受入れる。団体貸出では、年代別のおすすめ等をパッケージ化することで利用の促進を図る。	・再利用本を活用し蔵書を増やす。 ・定期的に団体貸出を利用し、おはなし会や読み聞かせで活用する。	・利用者や地域の方から提供される再利用本を活用する。 ・定期的に団体貸出を活用し、お話し会や読み聞かせで活用する。	・学童保育クラブの利用者や子どもセンターから提供される再利用本を活用することで、図書の充実を図った。 ・指定管理者が運営する学童保育クラブにおいては、図書館から提供される再利用本を活用したほか、15のクラブが団体貸出も活用したことで、おはなし会や読み聞かせの内容を充実させて開催することができた。	B	・再利用本を活用し学童保育クラブの蔵書を充実させることで、児童の発達に応じた図書に触れ合う機会を増やす。 ・定期的に団体貸出を活用し、おはなし会や読み聞かせを充実した内容で開催する。	・利用者や地域の方から提供される再利用本を活用する。 ・図書館において定期的に実施する団体貸出を活用し、おはなし会や読み聞かせを充実した内容で開催する。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度前半期取組状況	自己評価(前半期)	2024年度目標	2024年度取組予定
2	5	図書資料の充実	子どもセンター	児童青少年課	幼小中	事前にリスト等で選定した再利用本を年代別にし、計画的に受入れる。団体貸出では、年代別のおすすめ等をパッケージ化することで利用の促進を図る。	・再利用本を活用し蔵書を増やす。 ・子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、図書の充実を図る。	・利用者や地域の方から提供される本、再利用本や団体貸出を活用する。 ・子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、図書の新規購入を行う。	・図書館の団体貸出を活用し、紙芝居を乳幼児事業で活用した。 ・読み聞かせのプログラムで、好評だった本を選び、新規購入の準備を行った。	B	・再利用本や団体貸出を活用し、図書の充実を図る。 ・図書の新規購入の際は、子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、子どもの意見を反映させる。	・引き続き、利用者や地域の方から提供される本、再利用本や団体貸出を活用する。 ・子ども委員会や来館者の子どもたちからリクエストを募り、図書の新規購入を行う。
2	6	学校図書館の整備	「学校図書館活動の手引き」	指導課	施	活用状況を把握するとともに研修等の内容に反映させ、普及・啓発を図っていく。	・「学校図書館活動の手引き」を活用し、学校図書館の効果的な活用を図る。	・研修等で活用についての状況調査を行い、注目が高い内容について、研修の内容や講師の選定にも活用する。	・「学校図書館活動の手引き」を活用して研修を行った。 また、各学校の具体的な取組については、情報交換の時間を設けて、よい実践を共有することができた。	B	・「学校図書館活動の手引き」を活用し、学校図書館の効果的な活用を図る。	・第1回目の研修で、「学校図書館活動の手引き」について周知するとともに、各学校の取組について情報交換を行う。
2	7	学校図書館の整備	学校図書館の蔵書整備	指導課	小中	組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、考慮し、学校図書館資料の充実を図る。	・組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、考慮し、学校図書館資料の充実を図る。	・図書の選定については、学校の図書担当の教員が十分理解しておく必要がある。 2023年度については年度の早い段階で司書教諭や図書担当教員に蔵書の構成方法について周知を図る。	・図書の選定については、悉皆研修で実施した学校図書館担当者研修会で説明することができた。	B	・組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、学校図書館資料の充実を図る。	・図書の選定については、学校の図書担当の教員が十分理解しておく必要がある。 ・2024年度についても、年度の早い段階で図書担当教員や図書指導員に教育総務課とも連携し蔵書の構成方法や廃棄基準などについても周知を図る。
2	7	学校図書館の整備	学校図書館の蔵書整備	教育総務課	小中	組織的・計画的な選書、調和のとれた蔵書の構成方法について留意しながら、考慮し、学校図書館資料の充実を図る。	・学校図書更新比率の現状把握。 ・町田市立学校図書館図書廃棄基準策定の検討。	・引き続き、学校図書館図書標準の達成を支援するとともに、蔵書数を維持できるような予算の確保に努める。 ・今後も各校の学校図書館の蔵書数や学校図書館図書標準の達成状況を確認する。	・学校規模に応じた予算配当を行った。 ・町田市立学校図書館図書廃棄基準の検討を進めた。	B	・学校図書館図書標準全校達成。 ・学校図書更新比率全国平均以上の達成校31校。 ・町田市立学校図書館図書廃棄基準の策定。	・各学校図書館の蔵書数を確認し、引き続き学校図書館図書標準および学校図書更新比率全国平均以上の達成に向けて支援する。 ・関係部署や学校からの意見を取り入れながら、町田市立学校図書館図書廃棄基準を策定する。
2	8	学校図書館の整備	学校図書館支援貸出	図書館	小中施	図書館から学校図書館への貸出のしくみを改善するなど、支援方法を見直す。	・学校図書館支援に関するアンケート調査の結果を活用して、支援方法の検討を行う。	・引き続き、各学校への支援方法を検討する。 ・「テーマ別貸出セット」の充実に向けて、引き続き資料の追加購入を進めていく。	・学校図書館支援貸出を利用しやすくするために、テーマ別貸出セットの選定を行い、追加購入に向けた準備を行った。	B	・学校図書館支援貸出を通して、各学校への支援を行い、学校図書館との連携を進めていく。	・追加購入した「テーマ別貸出セット」や新たに作成した「学校支援おすすめリスト」などを各学校へ周知することで、学校支援貸出の活用を進めていく。

基本目標Ⅱ ◎いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度前半期取組状況	自己評価(前半期)	2024年度目標	2024年度取組予定
2	9	情報の発信(保護者向け)	「子育てひろばカレンダー」の発行	子育て推進課	保	保育園で実施している子育てひろばに関する情報誌「子育てひろばカレンダー」に、図書館で開催しているおはなし会情報を掲載している。毎月25日に発行し、市内約160箇所配布している。	・親子がおはなしに触れる機会を発信していく。	・引き続き、図書館からの原稿掲載依頼に対応していく。	・「子育てひろばカレンダー」に、図書館のおはなし会情報を町田地域が12回、鶴川地域、忠生地域が各11回、忠生地域、堺地域、南地域が各6回、計46回掲載した。 なお、「子育てひろばカレンダー」は市内193箇所での配布に加え、「まちだ子育てサイト」にも掲載している。	B	・親子がおはなしに触れる機会を発信していく。	・引き続き、図書館のお話を子育てひろばカレンダーに掲載していく。
2	10	情報の発信(保護者向け)	「生涯学習NAVI」の発行	生涯学習センター	保	市民が参加できる講座・講演会、イベント情報を集めた情報誌「生涯学習NAVI」の中で、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会の情報を発信する。	・引き続き、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会等の情報を分かりやすく発信する。	・図書館、文学館の情報だけでなく、まちライブラリーなどさまざまな地域団体や教育機関等に情報提供を呼び掛け、情報の充実を図る。	・子どもとその保護者を対象とした、おはなし会や紙芝居、絵本、ことば遊びのイベント情報を28件掲載した。 (春2,000部、夏1,650部、秋号1,485部、冬号1,800部を市内の公共施設や相模原市・大学・専門学校等で配布した。)	B	・引き続き、読書や読み聞かせに関する講座、おはなし会等の情報を分かりやすく発信する。	・引き続き、図書館や文学館の情報だけでなく、まちライブラリーや柿の木文庫など、さまざまな地域団体や教育機関等に情報提供を呼び掛け、情報の充実を図る。
2	11	情報の発信(保護者向け)	まちだ子育てサイトの活用	子ども総務課	保	「おはなし会」等のイベントや子どもの読書活動推進普及に役立つ情報を掲載する。	・引き続き、各施設で行われている「おはなし会」等のイベントの情報を発信する。	・引き続き、各施設で行われているイベントの情報を、分かりやすく見やすく伝えていく。	・情報の充実を図るため、子どもやその保護者向けのイベント情報をまちだ子育てサイトに掲載するように、庁内に呼び掛けを行った。 ・誰もが情報を見やすく、探しやすくなるよう、サイト機能の検討を行った。	B	・引き続き、各施設で行われている「おはなし会」等のイベントの情報を発信する。	・子どもやその保護者向けのイベント情報があれば、まちだ子育てサイトに掲載するように、庁内に呼び掛け、情報の充実を図る。
2	12	情報の発信(保護者向け)	図書館ホームページ・Twitter	図書館	保	「おはなし会」等のイベントや子どもの読書活動推進普及に役立つ情報を掲載する。	・子ども読書に関する情報(イベント)をわかりやすく、早く発信していく。	・イベントのお知らせ以外のページ(「みんなでもうこどもの本」の紹介ページなど)のPRを検討する。 ・子育てサイトに「おはなし会」のページを掲載していることをより多くの人に知ってもらえるようPRを行う。	・毎月1日と15日に図書館ホームページとX(旧Twitter)にてイベント情報を掲載している。10月までの更新回数は、図書館ホームページが140回、X(旧Twitter)が49回。 ・まちだ子育てサイトに「おはなし会」の情報を掲載している。夏休みは各館イベントごとにページを作成した。10月までの更新回数は65件。	A	・子ども読書に関する情報(イベント)をわかりやすく、早く発信していく。	・本の紹介ページ等の効果的な周知方法を検討していく。
2	13	情報の発信(保護者向け)	「家庭学習推進の手引き」の提供	指導課	保	全家庭に「家庭学習推進の手引き」を作成し、配付していく。	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として「読書活動の推進」を行うことを継続する。	・「家庭学習推進の手引き」を各学校に展開することができた。 ・市立図書館と連携し、電子書籍サービスの学校での活用を図るため、児童生徒に対し、アカウント配布を行うことができた。	B	・家庭でも、親子で本の読み聞かせをしたり、一緒に本を読む時間や場を設定したりするなど、読書に親しむことを啓発する。	・家庭学習の一環として、「読書活動の推進」を行うことを継続する。 ・中央図書館とも連携し、電子書籍の活用事例等の紹介を行い、クロムブックを用いた家庭での読書活動も啓発する。
2	14	情報の発信(保護者向け)	「本と出会う場所」マップ	図書館	保	本に出会える施設や、おはなし会等を実施している団体の情報を集約した読書マップを2020年に作成・公開する。	・図書館ホームページに掲載している「町田市読書マップ」の修正対応。 ・ホームページ版の掲載内容の充実。	・紙媒体の改訂を行うため、登録施設への現況確認を行い、新規施設のリサーチを行う。 ・ホームページ版については、写真の追加等各施設の魅力が伝わるようなページづくりを検討する。	・読書マップについて、さらに内容の充実を図るため、今後のあり方について検討した。	B	・読書マップの内容を充実させていく。	・引き続き、ホームページ版については、写真の追加等各施設の魅力が伝わるようなページづくりを検討する。

総括	A評価	B評価	C評価	15
	2	13	0	

基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の配置と育成

基本目標	通し番号	取組グループ	取り組み	担当課	対象	内容	2023年度目標	2023年度取組	2023年度前半期取組状況	自己評価(前半期)	2024年度目標	2024年度取組予定
3	1	施設運営職員育成研修	学校図書館担当者研修	指導課	施	図書指導員・学校司書が司書教諭等と連携して円滑な図書館運営を図れるよう、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していくための研修を行う。また、図書指導員間での情報共有を行う。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していく。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行う。	・1回目の研修会を悉皆研修とし、読書活動の充実に向けた実践事例の共有や学校図書館担当教員と図書指導員との連携について、研修を行うことができた。	B	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していく。	・図書指導員と学校の図書担当が連携して、学校ごとの組織的・計画的な蔵書管理、調和のとれた蔵書や環境整備の研修を計画・実施する。 ・図書指導員間での情報共有を取り入れた研修の場の設定を行う。
3	2	施設運営職員育成研修	新任教諭への図書館研修	指導課	施	研修を通して、専門性が深まるように啓発していく。	・授業内容の充実を図るために図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。	・1月に実施する初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修を計画している。	C	・授業内容の充実を図るために、図書館の図書支援サービスの活用を啓発する。	・初任者等研修の中で、町田市図書館の利用と図書支援サービスについての研修内容を取り入れる。
3	3	講座	児童文学講座の実施	文学館	保	児童文学への理解を深めることにより、個人の読書行動や子どもの読書に関わる活動に寄与する。	・子どもの読書活動の支援につながる保護者向けの講座の内容を再検討する。	・引き続き、保護者を対象とした絵本や児童文学に関する事業を実施する。	・夏季展覧会では、保護者を対象とした絵本作家の対談を2回実施し、計135名の参加があった。	B	・引き続き、参加者ニーズと社会状況の変化に応じて、絵本に対する保護者への関心を喚起する講演会の実施を検討する。	・より多くの方に参加してもらえるよう、参加者ニーズ、参加資格、講座内容の再検証を行う。
3	4	ボランティア養成	保護者向け絵本の読み聞かせ講座の実施	図書館	保	保育園・幼稚園や小学校で読み聞かせを行っている保護者に対して、絵本の読み聞かせ講座を実施する。	・館ごとに個別で講座を開催するのではなく市立図書館の事業として全館で計画的に実施する。	・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、テーマを検討する。 ・館ごとに「基礎編担当」、「実践編担当」とに振り分け講座を開催する。	・2022年度に実施した(全館の)児童担当者による打合せに基づき、以下の講座を開催した。 【さるびあ・堺図書館/会場:中央図書館】 ・6月1日「絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:14名参加 【鶴川・金森図書館/会場:金森図書館】 ・6月29日「絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:10名参加 【忠生・木曾山崎図書館/会場:忠生図書館】 ・11月21日「絵本の読み聞かせ講座～基礎編」:5名参加	B	・各館ごとに個別で講座を開催するのではなく、町田市立図書館の事業として、全館で狙いを定めて講座内容を決定し、実施する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、ボランティア講座を含めて、全体でテーマおよび開催時期を定めて、館で担当を振り分けて講座を開催する。
3	5	ボランティア養成	図書館おはなし会ボランティアの養成	図書館	保	ボランティアの更なる活躍のため、レベルアップ研修、おはなし会スキル講習を検討し、実施する。	・館ごとに個別で講座を開催するのではなく市立図書館の事業として全館で計画的に実施する。	・「(全館の)児童担当者による打合せ」を実施し、テーマを検討する。 ・館ごとに「乳幼児ボランティア向け」、「語り手向け」などに振り分け、研修等を開催する。	・2022年度に実施した(全館の)児童担当者による打合せに基づき、以下のとおりボランティア養成講座を開催した。 【中央図書館/会場:中央図書館】 ・10月17・24・31日「おはなし会ボランティア養成講座(乳幼児)」受講者:12名/修了者:10名	B	・各館ごとに個別で講座を開催するのではなく、町田市立図書館の事業として、全館で狙いを定めて講座内容を決定し、実施する。	・全館の児童担当者による打合せを行い、ボランティア講座を含めて、全体でテーマおよび開催時期を定めて、館で担当を振り分けて講座を開催する。 ・引き続き、ボランティア養成講座を実施する。
3	6	ボランティア養成	文学館おはなし会ボランティアの養成	文学館	保	「ちちんぷいぷい支援隊」メンバーの更なるレベルアップを図るための研修を継続して行う。メンバー以外の子どもの読書に関わる人も研修に参加してもらう。	・子どもたちに質の高いおはなし会を提供するため、メンバーの更なるレベルアップを図る研修の機会を設ける。	・継続事業として実施予定。	・ボランティアグループ、保育士を交えた紙芝居、絵本読み聞かせ、わらべうたや手遊びのブラッシュアップ研修を年2回開催し、実演プログラムの振り返りを行った。 ・メンバー同士によるデモンストレーションの回数を増やし、研鑽の機会を設けた。	B	・引き続き、ボランティアメンバーによる実演内容の点検と相互指導の機会を設ける。 ・ボランティアメンバーの新規募集について、検討する。	・外部講師を招聘した研修機会の確保に努める。 ・演者による定期的なプログラムの実演機会を設け、相互に意見交換の場を設ける。 ・事業担当の司書による資料紹介を通して、購入資料の有効活用の機会とする。

総括	A評価	B評価	C評価	6
	0	5	1	

目標番号	取り組み (担当課)	質問	回答
1-1	図書館でのお話し会 (図書館)	2023年度取り組みでは、コロナにより2年間中止となっていた「ボランティア懇談会」を開催する、とあるのに、実際の取り組み状況としては、ボランティアの負担軽減のために書面で必要事項の連絡だけおこなった、となっています。(実際、書面だけでした。)	<p style="text-align: center;">【長尾委員からの質問】</p> <p>わずかでもボランティアの方のご負担を減らしていきたいと考えて書面に変更しました。この件に関しては、ボランティアの方のご意見を伺いながら検討いたします。</p>
目標番号	取り組み (担当課)	意見	
1-1	図書館でのお話し会 (図書館)	<p style="text-align: center;">【長尾委員からの意見】</p> <p>ボランティアの一員として活動している身として懇談会は、年に一回、図書館の方々や同じボランティア同士の貴重な情報交換の場でした。</p> <p>また、おはなし会は、他のボランティアの方と一緒にやるため他のボランティアさんとお会いできる懇談会は、とても大事な機会でした。</p> <p>ボランティアの負担軽減とありますが、コロナ前の懇談会は、任意参加にも関わらず、参加者も多く、わたしのように懇談会を大事な場だと捉えていた方が多かったからだと思います。</p> <p>コロナによるオンラインや効率化ばかりが重要視されるがゆえに、人と人との直のコミュニケーションが減っている昨今だからこそ、おはなし会が大切なのであり、その担い手のボランティアたち同士のコミュニケーションの場である懇談会を廃止することは、一ボランティアとして納得のいかないところです。</p> <p>どうか再考をお願いします。</p>	

第五次町田市子ども読書活動推進計画策定スケジュール

資料3-1

	2023												2024												2025	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
市議会			●			●			●			●							●			●			●	
市民																										
(毎月月上旬) 教育委員会																										
(年2回) 推進会議																										
策定委員会																										
作業部会(チャット)																										
(図書館事業委員会) 事務局																										
図書館協議会																										

第25回会議
 ・スケジュール報告
 ・方向性の提示

第26回会議
 ・計画骨子報告
 ・取組のぶら下げ提示
 ・成果指標の報告

第27回会議
 ・計画案提示

第28回会議
 ・市民意見報告
 ・最終計画案の提示

第1回会議
 ・スケジュール報告
 ・第四次計画振り返り
 ・国・都の動向
 ・計画骨子案提示(方針・目標)の検討

第2回会議
 ・取組ぶら下げ提示
 ・足りない視点、取組の確認
 ・成果指標の確定

第3回会議
 ・計画素案提示・検討
 ・コラムの確認

第4回会議
 ・計画案提示・検討

第5回会議
 ・市民意見報告
 ・「市の考え方」確認
 ・最終計画案の確認

第1回会議
 ・スケジュール等報告
 ・骨子案修正提示
 ・取組出しについて

第2回会議
 ・取組ぶら下げ提示
 ・足りない視点、取組の確認
 ・成果指標の検討

第3回会議
 ・計画素案提示・検討
 ・コラムの検討

第4回会議
 ・計画案提示・検討

★委員会設置要綱
 ⇒各委員に打診
 ・国・都の計画確認
 ・視点・方向性について
 ・計画骨子案提示(方針・目標)のたたき台

【各課取組出し依頼】

【コラム原稿依頼】

≪計画素案作成≫

≪計画案作成≫

【市民意見募集準備】

≪計画案修正≫

・市民意見とりまとめ
 ⇒「市の考え方」作成
 ・最終計画案作成

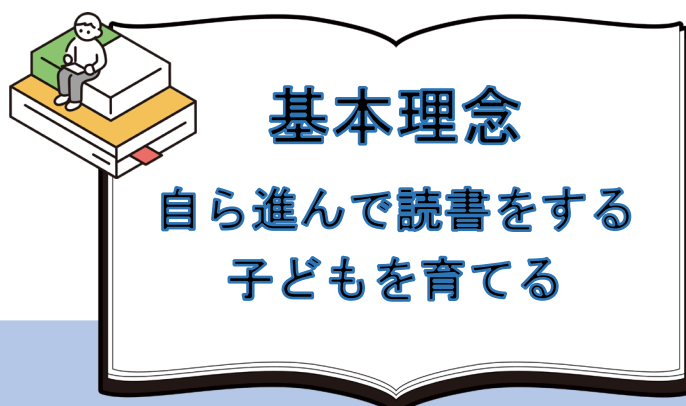
・計画最終稿作成
 ⇒製本印刷依頼

計画完成

※軽微な修正であれば、事務局一任で実施しない

計画骨子と視点について

1 基本理念



現在、子どもたちを取巻く社会環境は目まぐるしく変化しています。多くの情報から必要なもの、正しいものを自分で選び、再構築できる力が必要となっています。読書は、読解力・想像力・思考力・表現力等を養い、これからの社会で必要とされる能力を育むのに、最適な手段と考えられます。自ら進んで読書をすることで、「町田市教育プラン24-28」に掲げる「学び続ける力」が身に付き、生涯を通してさまざまなことを学ぶことで、自身のウェルビーイングの向上につながっていきます。

そのためにも、家庭や地域、学校等が連携・協働することで、社会全体で一体的、魅力的に子ども読書活動を実施していくことが必要です。

2 基本目標

基本目標Ⅰ：子どもが本と出会うきっかけ作り

読書習慣は乳幼児期から身に付けていくものです。子どもたちに「読書は楽しい」と感じてもらえるよう、成長段階に応じて子どもの興味を引く取組みを行い、読書習慣につながるようにすることが大切です。また、不読率の高い高校生世代には、同年代と一緒に参加し楽しめる取組みも必要です。

子どもたちが「お気に入りの本」に出会えるよう、本に触れあえるさまざまな機会を提供していきます。

基本目標Ⅱ：いつでも身近なところに本がある環境作り

子どもたちが読書をする環境は、GIGAスクール構想等の社会のデジタル化に対応していくことが求められています。また、文字を読むことが難しい子ども、外国にルーツの

ある子どもなどの多様な子どもたちに対して、読書ができる環境を提供することも求められます。

それぞれのニーズに合わせて、電子書籍（オーディオブック含む）やマルチメディアデイジー※、点字など、さまざまな種類の「本」が選択できるようにしていきます。

また、本の充実だけではなく、子どもたちやその保護者に、本に触れられる場所や機会があることを知ってもらうことも必要です。そのため、子ども向けの読書イベントや、読書活動に関する情報の発信を行っていきます。

基本目標Ⅲ：子どもの読書に関わる人の育成と支援

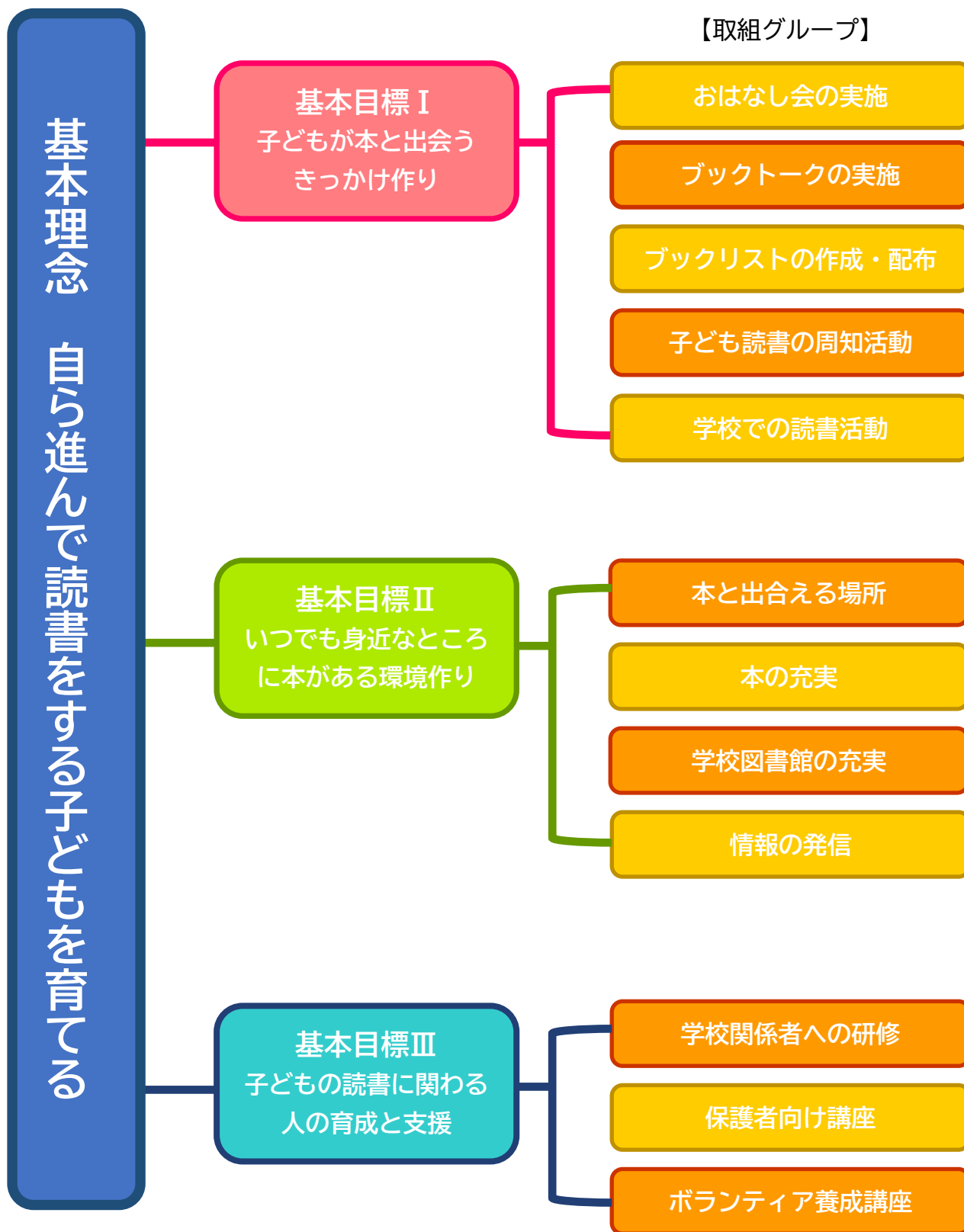
地域の中で、読書に関わる人の裾野を広げ、活動を活性化していくことで、子どもたちが本に触れる機会が増えていきます。成長段階に応じて最適な本を薦めてくれる人、おはなし会やブックトークで読書の楽しさを教えてくれる人、読み聞かせをしてくれる家族など、施設や地域、家庭でそれぞれ子どもたちの読書環境を支え広めてくれる人を育成・支援していきます。

また、読書活動のための人材の確保や、スキルアップのための研修などを引続き進めます。

※ 紙で読むことや活字を読むことが困難な方に、音声とあわせて文字や画像が表示されるアクセシブルな本です。専用の機械やパソコン等で読むことができます。

3 計画の体系

基本理念・基本目標に基づいた取組が実施されます。取組は取組グループごとにまとめて表示します。



第五次子ども読書活動推進計画取組一覧(案)

乳:乳児 幼:幼児 小:小学生 中:中学生～高校生世代 保:保護者 他:その他 先生や施設職員・市職員・ボランティアなどを含む

	(旧)取組グループ	取組グループ	教育プラン24-28	新規継続	取組名	担当課	対象	取組の内容	今後の方向性	
基本目標Ⅰ 子どもが本と出会うきっかけ作り	おはなし会	おはなし会の実施		継続	図書館のおはなし会	図書館	乳幼児小保	乳幼児向けから小学生低学年向けまで、年齢にあったおはなし会を開催し、子どもや保護者に本の楽しさを味わってもらいます。子どもが本に親しみ、本に興味を持ってもらえるように読書の機会を提供します。	絵本の読み聞かせや紙芝居、語りを聞いてもらい、親子で楽しく、リラックスして過ごすような時間を提供します。読書に興味を持ってもらえるように、おすすめ本を紹介したり、年齢に応じたプログラムを用意していきます。	
				新規	文学館のおはなし会	文学館	乳幼児小保	絵本や紙芝居の読み聞かせ、わらべうたやことば遊びを通じた親子のコミュニケーションを促し、「ことばの扉」となるべく事業を実施します。	保育士とボランティアの連携によって、より充実したプログラムの提供を目指します。	
				継続	児童保育クラブのおはなし会	児童青少年課	小	児童保育クラブに入会する子どもたちが、本に親しんでもらえるようおはなし会を実施します。	引き続き地域のボランティア団体と連携するほか、児童保育クラブの指定管理者に図書館の読み聞かせ講座の周知を行うことで、より多様なおはなし会の実施につなげます。	
				継続	子どもセンターのおはなし会	児童青少年課	乳幼小中保	子どもセンターに来館する子どもたちが、本に親しんでもらえるよう、地域のボランティア団体と連携しながら、おはなし会を実施します。	引き続き、地域のボランティア団体と連携して、おはなし会で扱ったテーマの別の本も紹介するなど、より子どもが本に興味を持ってもらえるような環境をつくりを工夫します。	
				継続	「子育てひろば」のおはなし会	子育て推進課	乳幼児小保	乳幼児を対象とした「子育てひろば」(※)にて絵本の読み聞かせを行っています。また、その年齢にあった絵本や、季節の絵本などの紹介を利用者に行っています。	今後も「子育てひろば」にて絵本の読み聞かせを行っています。また、職員だけではなく、子育てひろば参加者に読み手になっていただくなど、絵本に触れる機会を増やしていきます。	
		ブックトーク	ブックトークの実施		継続	児童・生徒へのブックトーク	図書館	幼小中	学校の読書活動の一環として、図書館員が学校へ出向き、読書の楽しさを伝えます。また、図書館の紹介や利用案内も行っています。	学校からの依頼に応えられるように、シナリオやスキルを蓄積、共有し、今後も継続してブックトークを行えるようにしていきます。
		ブックリスト	ブックリストの作成・配布		継続	おすすめブックリスト	図書館	乳幼小中保他	図書館で購入した児童図書の中から、図書館員が選んだおすすめ本を集めて、年代別のリーフレットを作成・配布しています。それぞれにおすすめ本の簡単な解説を掲載しています。	子どもにどんな本を選んであげたいのかわからない保護者の方や、何か面白い本がないか探している子どもたちのために、今後も継続して作成・配布していきます。また、配布効果を検証し、配布先や配布方法を検討していきます。
	子ども向け読書活動普及事業	子ども読書の周知活動		継続	赤ちゃんにおすすめの絵本の紹介	保健予防課	乳保	出産後の保護者と接する健診等の機会に、赤ちゃんにおすすめの絵本について情報提供します。	紹介する時期や媒体など、効果的な方法を検討しながら実施していきます。	
			○	継続	図書館のイベント・講座	図書館	小中	子ども・若者が読書や図書館に興味を持つきっかけとなるような、イベント・講座を実施します。	人気がある「一日図書館員」のような職場体験イベント以外にも、参加者が増えるように周知等を行っていきます。	
			○	新規	若者の参画イベント	図書館	中	若者が読書や図書館に興味を持つきっかけとなるように、同世代の若者自身が、自分たちが楽しいと思うイベントの企画・運営を行います。	若者自身が計画し、運営していくことができるようにサポートを行っていきます。	
			継続	図書館見学の受け入れ(利用ガイダンス、施設見学)	図書館	幼小中	学校からの見学依頼を受け、図書館案内や書庫のバックヤード見学などを行い、図書館や本に興味関心を持ってもらいます。	今後も幅広く受け入れていきます。対象学年に応じて内容を工夫し、図書館や本に興味を持ってもらえるようにします。		
○			新規	移動図書館の出張運行	図書館	乳幼小保他	移動図書館を使用して、保育園、幼稚園、イベント会場など子どもが集まる場所へ出張しています。本の貸出の他、紙しばいやミニおはなし会などを実施しながら、本に触れる機会をつくっています。	保育園、幼稚園など子どもが集まる場所への出張運行を増やす方向で検討していきます。		
○			継続	文学館のイベント・講座	文学館	小中	町田市内の小・中学校に在学する生徒が募集できるコンテストとして「ショートショートコンクール」を開催しています。コンテストを通じて自由に「書くこと」の楽しさを伝えます。	コンテストの周知と、コンテストに応募するための作品の書き方を、担当職員が出張事業を通じて積極的に伝授します。		
○			新規	絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会	文学館	小中	夏季には絵本作家や子ども向け(主として乳幼児～小学校低学年とその保護者)のテーマを扱った企画展を開催しています。漫画など文学に隣接するジャンルの展覧会の開催に積極的に取り組んでいます。	今後も、展覧会の開催による鑑賞機会を提供することで、子どもたちが本物に触れ、味わう感性を育てます。		
			継続	マイ保育園登録時の絵本配布	子育て推進課	乳保	マイ保育園(※)に登録していただく際、初めて登録した0歳児のご家庭に絵本のプレゼントを行っています。図書館のブックリストを参考に選定しています。マイ保育園の登録を勧めるとともに、絵本を通じてお子さんと楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。	今後もマイ保育園に初めて登録する0歳児のご家庭に絵本のプレゼントを行っています。		
学校での読書活動	学校での読書活動		継続	各校特色のある読書活動	指導課	小中	学校の教育計画の「指導の重点」に明記し、市立小・中学校においてそれぞれ特色ある読書活動に継続的に取り組めます。	本の読み聞かせなどの読書集会、学校行事と結びつけた読書の動機づけを行うなど、読書量の増加や読書の質の向上を図ります。		

(※)ご家庭で育児をしている保護者を対象にあそびや、育児の情報交換する場です。

(※)家庭で子育てをしている保護者が、市内の保育園や認定こども園に登録することで、「育児のかけりつけ窓口」として、気軽に相談ができる子育て支援です。

	(旧)取組グループ	取組グループ	教育プラン24-28	新規継続	取組名	担当課	対象	取組の内容	今後の方向性	
基本目標Ⅱ いつでも身近なところに本がある環境作り	図書資料の充実	本と出合える場所		新規	町田第一中学校図書室 ここまちベース	生涯学習センター	乳幼小中保他	町田第一中学校の図書室を地域の方々が利用できます。図書室にある本を眺むというだけの場所ではなく、学習支援や各種イベントの実施により、学びの場、憩いの場、多世代交流の場となっています。	多様な世代の市民の自主的な学びを支援し、地域住民の活動拠点となるような取組を推進します。	
				新規	玉川学園駅前連絡所 児童図書室	市民課(玉川学園駅前連絡所)	乳幼小保	乳幼児向けの絵本から、児童書、紙芝居など、約7,000冊の本があります。1人4冊、2週間借りることができます。対象は、町田市在住・在学・在勤の方です。	より多くの方に利用してもらえるよう、子ども向けチラシを作成するなどPRを強化します。また、特集コーナーを充実させて、本への関心を深められるよう働きかけを行います。	
	図書資料の充実	本の充実		継続	図書館	図書館	乳幼小中保他	子どもたちに読書を楽しんでもらえるように、構成を検討しながら本の充実を行っています。子どもたちの興味を引くような本から、調べ学習に対応できるような本まで、さまざまなニーズに幅広く対応できるように、実際に現物を見てから発注を行っています。	図書館でも「えいこのまちだ」に貢献できるように、英語絵本・児童書を充実させていきます。また、多様な子どもたちの読書環境を整えるため、「やさしい日本語」の本についても検討を行っています。	
				継続	子どもセンター	児童青少年課	乳幼小中保	子どもセンターばお分館WAAAOは、「絵本の世界へようこそ」がコンセプトであり、乳幼児に本に親しんでもらえるよう「ドキドキ図書館」のスペースを設置しています。	今後も、より多くの乳幼児が本を手にとり興味を持ってもらえるよう、低い書棚に配架するなど工夫を行います。	
				継続	公立保育園および地域子育て相談センター	子育て推進課	乳幼保	身近で絵本が借りられるよう、絵本の貸し出しを行っています。図書館からのリサイクル図書を利用し、本の入れ替えを定期的に行っています。貸し出しの際には季節の物や子どもに人気の本を紹介し、興味関心を持ってもらうよう行っています。	引き続き絵本の貸し出しを行うとともに、絵本の紹介も行っていきます。また、地域子育て相談センターでは年齢に応じた絵本の紹介も行っていきます。	
	学校図書館の整備	学校図書館の充実		継続	学校図書館支援貸出	図書館	小中他	さるびあ図書館を拠点に、学校図書館への支援貸出を行っています。学校での調べ学習をサポートするため、図書館で必要に合わせた本を選書し、配本しています。	テーマ別の貸出セットなどを利用して、スムーズかつ簡易に支援貸出ができるようにします。	
				○	継続	学校図書館の蔵書整備	教育総務課	小中	児童生徒が本に触れ合う機会を増やし、豊かな知識や心をもつことができるよう、学校図書館図書標準※の達成と、廃棄規準に基づいた計画的な本の更新を進めていきます。	(※)新規に受け入れた本の数と廃棄した本の数を足合算して、年間の蔵書数で除した数。 (※)学校図書館に整備すべき本の標準数。
				継続	「学校図書館活用の手引き」の活用	指導課	他	「学校図書館活用の手引き」の活用状況を把握し、学校図書館担当者研修会の研修等の内容に反映させます。児童・生徒の読書活動の充実のため、普及・啓発を図っていきます。	「学校図書館活用の手引き」を活用し、市立学校図書館の蔵書及び運営の充実を図っていきます。	
				○	新規	学校図書館の運営人材の確保	指導課	他	学校司書等の学校図書館の運営を担う人材確保の方法を検討するとともに、小・中学校モデル事業を実施してまいります。	学校司書等の学校図書館の運営を担う人材確保の方法を検討するとともに、学校図書館指導員に加え、司書、司書補又は司書教諭の資格を有する方を巡回型職員として任用するなど、モデル事業の実施を検討してまいります。
				○	新規	電子書籍サービスの活用	指導課	小中	学校図書館の機能充実を図るべく、学校において市立図書館の電子書籍サービスを活用してまいります。	市立小・中学校に通う児童・生徒に配布している電子書籍サービスのアカウントを活用し、読書習慣の確立につなげてまいります。
	情報の発信(保護者向け)	情報の発信		継続	図書館ホームページ等での情報発信	図書館	小中保他	子どもたちの読書のきっかけや、本との出会いになるように、イベント(おはなし会など)の情報や、おすすめ本リスト等を、図書館ホームページ、まちだ子育てサイト、X(旧Twitter)でお知らせしています。また、図書館ホームページでは、本と出合える場所や団体の情報をまとめた「町田市読書MAP」を、学校の先生に向けた「市内小・中学校の先生方へ」など、幅広く情報を掲載しています。	図書館ホームページやまちだ子育てサイトで、分かりやすく情報を発信するため、見やすいページ作りを目指していきます。	
				新規	「みんなが読める本」の周知活動	図書館	幼小中保他	障がいがあっても読めるさまざまな「本」があることを、本人だけではなく周りの人たちにも知ってもらえるように、周知活動を行います。情報を必要としている子どもにつながるよう、周知を行っていきます。	紙の本だけではなく、点字や音声などの本や読みやす工夫されている本などがあることを、イベントや研修などで周知を行っていきます。	
				継続	「家庭学習の手引き」の提供	指導課	保	全家庭に「家庭学習推進の手引き」を作成し、配付するとともに、読書に親しむことの啓発を図っていきます。	市立小・中学校に通う新1年生の児童・生徒の家庭に「家庭学習推進の手引き」を配付し、継続的に読書習慣の確立を啓発してまいります。また、「町田市学力向上推進プラン(第4次)」を更に推進してまいります。	
	基本目標Ⅲ 子どもの読書に関わる人の育成と支援	施設運営職員育成研修	学校関係者への研修	継続	学校図書館担当者研修	指導課	他	図書指導員が司書教諭等と連携して円滑な図書館運営を図れるよう、蔵書管理、環境整備、学校図書館を活用した学習等、学校図書館を充実していくための研修を行う。また、図書指導員間での情報共有を行ってまいります。	学校図書館担当者研修会において、「学校図書館活用の手引き」の周知を図るとともに、手引きに掲載された内容や実践事例を踏まえた研修を計画します。	
				継続	新任教諭への図書館研修	指導課	他	新任教諭の読書活動に対しての知識が深まるように、図書館研修を行ってまいります。	今後の授業に役立つよう、市立小・中学校の新任教諭への図書館の図書支援サービス等に関する研修を行います。	
ボランティア育成		ボランティア養成講座	○	継続	市民向け絵本の読み聞かせ講座	図書館	保他	保育園や小学校、学童クラブで読み聞かせを行っている保護者やボランティアを対象に、絵本の読み聞かせ講座を開催し、本の選び方や読み聞かせ方法の技術向上を目指します。	地域で活動をしている方に対して、技術や意欲の向上につながるよう講座を開催します。また、悩みや相談にも応じていきます。講座を開催することで、図書館員のスキルの向上にもつなげていきます。	
	○		継続	おはなし会ボランティアの養成講座	図書館	保他	新規ボランティアを養成するため、おはなし会ボランティア養成講座を開催し、地域で活躍する人材を育てます。	乳幼児向けおはなし会ボランティア、語り手ボランティアの養成に加え、企画運営ができるボランティアを育成します。		
講座(人材育成)	保護者向け講座	継続	児童文学講座	文学館	保他	絵本作家や編集者等を招聘した講演会やワークショップの開催を通じて、本や本づくりに携わる人々との交流を促し、本に対する理解を深める契機を作ります。	親子で一緒に参加できるような講座の実施機会の提供に努めます。			

成果指標

本計画の基本理念である「自ら進んで読書をする子どもを育てる」を目指すため、成果指標を設定します。

指標は、「児童及び生徒の読書の状況に関する調査（東京都教育委員会）」を基に、計画検討時直近の数値と計画期間最後の調査の数値を使用します。読書好きの子どもを増やし、本を読まない子どもの割合を減らすことを目指します。

また、各目標に対しても、取組を毎年度「町田市子ども読書活動推進計画推進会議」において、進捗状況の確認・点検を行います。

【本を読むことが好きな子どもの割合】

	小学2年生	小学5年生	小学生平均	中学2年生	中学生平均
2022年度 (令和4年度)	61.4%	40.7%	48.1%	24.4%	27.3%
第五次計画目標値 2028年度 (令和10年度)	67.5%	44.8%	52.9%	26.8%	30.0%

資料：令和4年度 児童及び生徒の読書の状況に関する調査（東京都教育委員会）

【1か月に1冊も本を読まない子どもの割合（不読率）】

	小学2年生	小学5年生	小学生平均	中学2年生	中学生平均
2022年度 (令和4年度)	2.6%	8.1%	7.0%	12.8%	12.9%
第五次計画目標値 2028年度 (令和10年度)	2.3%	7.3%	6.3%	12.0%	11.6%

資料：令和4年度 児童及び生徒の読書の状況に関する調査（東京都教育委員会）

※ここでの本には、教科書、雑誌、図鑑、マンガ、写真だけの写真集、絵だけの絵本や画集は含まない。